2024年度 事業報告

福井武司理事長のもと、引続き佐野春仁校長・桐浴邦夫副校長体制により学校運営・広報活動また学校外での活動を通して本校の認知度を上げる努力を行っている。

2020年度より始めた建築科二部に於いて仕事などで登校できない学生のため、設計製図等演習を除く、講義のオンライン併用。また伝統建築研究科でも遠方からの受講生にはオンラインでの受講を継続して行った。結果、伝統建築研究科の受講生が大幅に増えた。

従来同様、本校教育方針である「**建築の基礎力を身につけ、伝統や木造建築を理解し、現代に生かすことのできる建築のプロフェッショナルを育てる**」に準拠し、「**京都・伝統・木造**」を前面に出して、他校との差別化を図っている。また、前記教育方針に加え、「**伝統ある建築専門学校**」を全国的にアピールすることで高等学校や地域において広報活動の強化を継続する。今年度はランディングページを作成した。ここ数年、建築科の入学生に伝統や木造、大工といった学びを目指す学生が増えており、大工技能に優れた入学生も見受けられる。今後も**萌木スカラーシップ**の運用も含め、より意志を持った学生を集めることで本校の個性を強化、特性を活かした教育に磨きをかけていく。

2024年度の建築科卒業制作木工チームでは、**京北森林組合の倉庫建設、奥出雲の仁王門修復、学校近くの長屋改修、堀川茶室の制作**などのプロジェクトを行った。(写真参照)

2024年度卒業生43名巣立つ

建築科31名、建築科二部12名が卒業。卒業制作優秀作品の発表会、懇親パーティも行った。(昨年度卒業生 建築科32名、二部25名)

小規模校ならではの手作り教育

従来通り、小規模校の特性を活かし、学生と教職員が一体となって建築を学び、豊かな教養を持った社会人として巣立つことを目標に日々の学校運営を進める。授業は、建築の基礎をきめ細かく教え、二級建築士が持たなければならない知識の習得に努めた。加えて、実習・演習はもとより、各授業でも本校の特色である「**京都・伝統・木造**」を盛り込んだ授業を展開する。また、従前からの資格取得のための対策講座も開講。一人ひとりの個性を伸ばすゼミの開講、感性を伸ばし社会への適応力をつける課外活動なども積極的に進めた。さらに、学校生活に適応しにくい学生や不登校気味の学生への目配り、学力不足のための落伍者を最小限に食い止めるために、四半期毎に面談を行うとともに数学や力学の苦手科目克服の授業を開いている。

建築科の**卒業制作ゼミ**では設計2グループ、木工3グループに分かれ、それぞれ担当の先生に熱を入れて指導していただいた。その成果は2月の卒業制作展及び卒業制作発表会や卒業式にて公開された。

入学生の確保及び就職

入学生の確保

本校の教育方針を前面に掲げ、他校との差別化を図った学生募集を行ったところではあるが、結果、2024年4月の入学生は建築科では19名と昨年より20名減、過去最低数となった。また、建築科二部では19名で昨年より1名増となった。

(2025年4月入学生は建築科33名(14名増)、建築科二部17名(1名減)と昨年より少し増えたが、例年より少ない数であり、18歳人口の減少を根源とする、大学進学率の上昇傾向(京都市では80%超)が顕著である中、一層の募集の努力が求められる)

二部同様オンライン併用とした伝統建築研究科では前期「茶室編」39名・後期「町家編」37名であった。

入学生確保のための実施事項

1. オープンキャンパスを27回開催した。(2023年度も同回数)
 - ・全参加者は133名 ('23111名 '22115名 '21161名 '20141名 '19159名)
 - ・昨年より参加者は増加した。在校生を主体とする設計作品の紹介に加えて、初歩的な体験授業(木工体験、伝統建築見学体験、ミニ講義等)を行った。また、秋からは建築科二部の志願者を対象とした夜間の説明会を6回(昨年と同じ)開催した。(参加者25名、昨年参加者14名、一昨年参加者19名)
 - ・オープンキャンパスへの参加者以外に個別訪問やリモートでの個別相談も引き続き行っている。
2. 学校案内及びホームページには学校や学生の活動を紹介。年々インターネットからの情報の重要度は高くなっており、ホームページにはブログの他、実習授業風景や堀川茶室制作、在校生へのインタビューなどの動画により、高校生や保護者等の関心を惹きつけるようにしている。
3. 今年度は進学先決定の早期化に伴い、**高校訪問**を通常より早い時期に行った。

就職指導

1. 2024年度就職率は**93.5%**であった。(建築科 設6人施2人大工12人進学2人公2人他5人)
近年大工希望者が増加し、施工管理希望者や設計希望者が減少している。
今後とも高い就職率が維持できるよう、就職ガイダンスや個人面談等、きめ細やかな支援体制の更なる向上を図る。
2. 2024年度も**282社**とたくさんの求人をいただいた。
(23283社 '22273社 '21243社 '20245社 '19246社 '18244社 '17258社)
例年どおり施工管理の求人が多く、設計・大工の求人開拓が必要である。
3. 京都の企業人、卒業生による「ミニレクチュア」を数回行い、業種の紹介・就職指導等を行った。

学校行事の実施

学園祭「建工祭」堀川茶室

11月2日(土)～4日(月・祝)の3日間、昨年より南の二条城前の堀川に茶室を設置し、学園役員、市民講座会員、卒業生および在校生家族の方々、近隣の方々にお茶をふるまった。

15年間続いている**堀川茶室**は今や恒例の秋の風物詩になりつつある。初日は大雨で中止となったが2024年度も多く参加があった(261人・一昨年は460人)。その他、よしやまち校舎での餅つき(学内対象)を行った。

卒業制作発表会および展示会

2月15日(土)～2月17日(月)の3日間、『**京都府立 京都学・歴史館**』
(京都市左京区下鴨半木町)

にて開催。ご父兄、卒業生等、就職先会社等、多数の方々に見ていただいた。

また、2月16日(日)には同会場大ホールにて**発表会**を行った。また、卒業式当日には卒業制作の優秀作品を展示、発表会も行った。

資格試験対策など

1. 二級建築施工管理技術検定試験(第一次検定)対策講座〔在校生 無料〕

昨年同様、齋藤先生が担当となり、回数も20回開講した。

- ・開講期間 10月1日～11月22日
- ・第一次検定試験 11月24日(日)
- ・受験申込者19名

学校への合否通知が無くなったため合格率等把握できず(全国合格率50.5%)

2. 二級建築士受験対策講座〔卒業後 有料〕

・学科コース、製図コースを開講し合格率UPを目指した。

①学科受講者 31名 合否判明者27名 合格者20名

合格率74.0%(全国39.1%)〔昨年合格率58.8%(全国35.0%)〕

(担当 計画:橋本・構造:山口・法規:永良・施工:齋藤)

②製図受講者 30名 合否判明者30名 合格者18名

合格率60.1%(全国47.0%)〔昨年合格率55.6%(全国49.9%)〕

(担当:中・橋本)

3. 3D-CAD講習〔在校生は無料〕(担当:山口)

授業より一段進んだ3D-CAD上級コースの学習機会を与えるため夏休み中の夜間にリモートで5回開講。

(受講者 学生15名+卒業生3名+教員2名)

京都府林・材・建青年協議会による研修セミナー

3ヶ年にわたるセミナーに参加。2020年京北合併記念の森にて伐栽、2021年製材、2022年デッキ製作、2023年は再び伐栽体験+搬出+製材の見学を行った。

市民講座

12月14日(土) 京北を根拠として活動しているフランス人建築家であるM・ヘレスバックとS・ルノー夫妻を迎え、京都府庁正庁で京北での活動や暮らしについて講演いただく。後半、フェイラン・ツェン氏、本校教員の山本剛史氏を加え討論会を実施した。

一般73名・学生7名・教員7名参加

防災士養成講座

地域防災の担い手となる「防災士」を養成する機関として京都府内で初めて認定を受け2022年度より開講。2024年度は「京都府労働者総合会館」で開講。昨年同様たいへん好評であった。

10月26日(土)・27日(日) 受講者70名 (うち69名試験合格)

萌木スカラシップ

本校創立50周年記念事業であるよしやまち町家校舎耐震補強整備で指導を依頼、その後も本校における伝統木造構法の教育に指導・助言を得ている「鈴木有」氏よりの寄附により、「大工技能に優れ、京都の本校にて伝統木造構法技術の学習に意欲をもつ若者」に給付する奨学金「萌木スカラシップ」。2024年度からの採用者を1名、2025年度も1名採用。

寄付金について

下記企業様より学校への寄付金を頂戴した。

① 影近設備工業株式会社	金800,000円	2024/6/28
② 株式会社増田組	金300,000円	2025/3/5

見学

1. 春の見学(明治村) 学生42名 バス1台
2. 秋の見学(福井方面/熊川宿・年縞博物館・縄文博物館) 学生31名 バス1台
3. 【建築科1年 伝統建築演習】京都御苑・上賀茂神社・北野天満宮・平野神社・大報恩寺・三十三間堂・平安神宮・聖護院・教王護国寺・相国寺・醍醐寺・平等院・宇治上神社・清水寺・西本願寺・東本願寺・二条城 等
4. その他、設計製図、施工、設備、町家ゼミ等で見学あり

高等教育の修学支援新制度について

しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学や専門学校に進学できるチャンスを確保できるよう、文部科学省による、高等教育の修学支援新制度が2020年4月から実施され、本校も引続き対象校となる。